

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 2 日 (2021.9.2)

【公開番号】特開 2020-138329 (P2020-138329A)

【公開日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-036

【出願番号】特願 2019-33228 (P2019-33228)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/17 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/17 2 0 3

B 4 1 J 2/01 3 0 5

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明は上記の課題を解決するために為されたものであり、その目的は、複数の印字ヘッド毎のインクミスト発生量の違いに対応してインクミストを回収できるとともに、頻繁にフィルタを清掃、交換する必要がなく、液化したインクミストを容易に排出できることである。さらに、印字ヘッドを設けた箱体内にインクミストが流れることがなく、その箱体をコンパクトにできるインクジェット印字装置を提供することである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本発明のインクジェット印字装置においては、前記送風用ノズルは、前記印字媒体の幅方向全域に開口する長さの送風口と、前記送風口の長さ方向に間隔をおいて設けられた複数の流入口を有し、前記吹出し風量制御手段は、前記各流入口に送風する送風風量を調整可能とし、前記回収用ノズルは、前記印字媒体の幅方向全域に開口する長さの回収口と、前記回収口の長さ方向に間隔をおいて設けた複数の流出口を有し、前記排気用ブロワは、前記流出口から空気を吸引するようにしたインクジェット印字装置とすることができる。

このインクジェット印字装置によれば、印字媒体の幅方向全域に空気を吹き付けできると共に、吹き付け風量を幅方向全域で均一とすることができる。

印字媒体の幅方向全域から空気を均一な吸引風量で吸引できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

印字部 2 は、箱体（ヘッドボックス）2 0 内に複数の印字ヘッド 2 1 を印字媒体の搬送

方向に間隔を置いて設けてある。各印字ヘッド 2 1 により異なる色のインクを用いて印字媒体の印字面に画像を印字する。

例えば、ブラック (K) のインクを用いる第 1 印字ヘッド 2 1 - 1 と、シアン (C) のインクを用いる第 2 印字ヘッド 2 1 - 2 と、マゼンタ (M) のインクを用いる第 3 印字ヘッド 2 1 - 3 と、イエロー (Y) のインクを用いる第 4 印字ヘッド 2 1 - 4 の 4 つの印字ヘッド 2 1 を備えている。

印字媒体を搬送しながら第 4 から第 1 印字ヘッド 2 1 - 4 ~ 2 1 - 1 の順番で、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (K) のインクで印字をする。印字ヘッド 2 1 は、印字媒体に対向してインクを吐出するノズル面を印字媒体の幅方向 (搬送方向と直角な方向) 全域に亘って有するラインヘッドである。例えば、複数の印字ヘッドモジュール (図示せず) を印字媒体の搬送方向と直角な方向に千鳥状に配置したラインヘッドを印字ヘッド 2 1 としている。